日本海事新聞

THE JAPAN MARITIME DAILY

2011年(平成23年)
11/15 火
第19132号
日刊(土曜・日曜・祝日休刊)
昭和17年12月28日
第3種郵便物認可

発行所 日本海事新聞社
本社 編集☎(03)3436-3221
購読・広告(03)3436-3222
〒105-0004
東京都港区新橋5-19-2
振替口座 00190-8-195384番
FAX 編集(03)3436-6553
購読・広告(03)3436-3247

関西支局 ☎(06)6448-3691
〒530-6109
大阪市北区中之島3-3-23
FAX (06)6448-7749
主要支局
北海道 静岡 中部

©日本海事新聞社 2011

JBIC 4―10月船舶輸出向け融資

需要拡大 13隻165億円に

国際協力銀行(JBIC)の船舶輸出に関する融資実績(承諾件数)が、4―10月期で13隻(件)、165億円となった。金額ベースでは、RORO船4隻の案件が入っていた前年同期実績と比べ35%減となるものの、隻数ベースでは5隻増加した。1985年度以降の年間実績では、隻数で前年度(14隻)、金額ベースでは2002年度(496億円)がそれぞれ過去最高。11年度は、現在も契約交渉などが進められているとみられ、年度末に向けさらに実績は伸びそうだ。

リーマン・ショック後、世界的に民間金融機関での船舶ファイナンス組成が難しくなるなか、それ以前の契約船向けにJBICの輸出金融を利用するケースがここにきて拡大。JBICの輸出金融は、これまで開発途上地域向け輸出に限定されていたが、7月以降、船舶など先進国向けも可能となっており、さらに需要が高まっている。

JBICは、国内造船で建造した船を海外船社が購入する資金について購入者への直接融資(バイヤーズクレジット)、海外船主所在地の現地銀行を介したバンクローンで供与している。融資は市中銀行との協調融資で行う。

JBICの船舶輸出金融は、日本輸出入銀行時代の80年代まで利用率は高かったものの、OECD船舶セクター了解による融資条件厳格化などもあり、案件が縮小。85年に13隻、147億円だった融資実績は、08年度まで隻数ベースで0―8隻にとどまっていた。一方リーマン・ショック以降、09年は10隻、111億円、10年には14隻、386億円に急増している。

JBICの船舶輸出金融実績(2011年4―10月期)

船主国／船籍国	(実質)輸入者	船型(D/W)	造船所	輸出者	備考
ギリシャ／キプロス	セーフバルカーズ	バルカー(95,000)	今治造船	伊藤忠商事	
ギリシャ／キプロス	セーフバルカーズ	バルカー(95,000)	今治造船	伊藤忠商事	
ギリシャ／キプロス	セーフバルカーズ	バルカー(95,000)	今治造船	伊藤忠商事	
トルコ／トルコ	ヤサ	バルカー(83,000)	サノヤス	三菱商事	バンクローン(イシュバンク向け)
トルコ／トルコ	ヤサ	バルカー(83,000)	サノヤス	三菱商事	バンクローン(イシュバンク向け)
韓国／パナマ	韓進海運	バルカー(82,800)	常石造船	伊藤忠商事	バンクローン(韓国産業銀行向け)
韓国／パナマ	韓進海運	バルカー(82,800)	常石造船	伊藤忠商事	バンクローン(韓国産業銀行向け)
韓国／パナマ	韓進海運	バルカー(82,800)	常石造船	伊藤忠商事	バンクローン(韓国産業銀行向け)
韓国／パナマ	韓進海運	バルカー(82,800)	常石造船	伊藤忠商事	バンクローン(韓国産業銀行向け)
スウェーデン／シンガポール	ワレニウス	自動車船	三菱重工	三菱重工	
インド／インド	Adaniグループ	タグボート	金川造船	興和	
デンマーク／シンガポール	ノルデン	バルカー(37,000)	尾道造船	尾道造船	
デンマーク／シンガポール	ノルデン	バルカー(37,000)	尾道造船	尾道造船	

注、備考の空白は全て輸入者へのバイヤーズクレジット(直接融資)

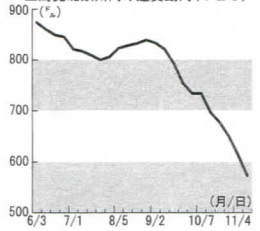
北欧州向けコンテナ運賃 下落に歯止めかからず

アジア発北欧州向け定期コンテナ航路のスポット運賃下落に歯止めがかからない。上海航運交易所(SSEC)がまとめた11日付の上海発北欧州向け運賃(海上部分の諸チャージ込み)は、20フィートコンテナ当たり573ドルとなり、今年に入って初めて600ドルを割り込んだ。ここ1カ月で100ドル近く下落するなど、軟化傾向の底打ちが確認できない状況だ。

北欧州向けコンテナ運賃は、需給が逼迫した昨年夏には20フィートコンテナ当たり2000ドルを超えた水準で推移していたものの、今年に入ってからは船腹過剰の影響もあってほぼ一貫して軟化が続いてきた。それでも8月には800ドル前半でいったんは下げ止まったものの、9月に入って再び軟化。それからは加速度的に運賃下落が進み、10月上旬に700ドル弱の水準だったものが、足元は500ドル台にまで低迷している。

運賃下落に歯止めがかからないなか、配船各社は船腹量の削減に取り組んでいる。既にグランドアライアンス(GA)が欧州サービス・ループDの冬季減便を決めたほか、他のアライアンスでも同様の措置を検討している模様だ。ただ「シェアの高い欧州系船社が(減便に)動かなければ市場へのインパクトが薄く、運賃下落の心理的歯止めにならない」(船社関係者)という。現状では、運賃下げ止まりに向けた具体的な動きはまだ見えてこない。

上海発北欧州向け運賃動向(TEU)



注)上海航運交易所の運賃インデックスより

米国向け10月コンテナ 中国積み低迷続く

ゼポまとめ

米国民間統計サービスのゼポは14日、米国税関発表データを基に10月のアジア主要10カ国出し米国向けコンテナ貨物量をまとめ、発表した。10カ国合計は前年同月比3・8%減の113万9000TEUで、5カ月連続マイナスとなった。

シェア6割を占める中国積みは6・5%減の67万4000TEUで5カ月連続減、香港積みも6%減の10万1000TEUだった。ただ香港積みは前月比ではプラスに転じている。

韓国積みは11万9000TEUで9・5%増、台湾積みは7万9000TEUで5・4%増、日本積みは5万6000TEUで1・5%増と、中国以外の主要3カ国・地域は好調。ベトナムやマレーシアも2桁増となり、中国の輸出減と明暗が分かれた。

ゼポ社は米国税関が公表するAMS(Automated Manifest System)・BL(船荷証券)記載データを、独自の検索エンジンでデータベース化。数値の2重計上がそのまま反映される可能性があるが、早期の実績公表が特徴。

海賊情報の共有強化 センター間連携で署名

IMO

国際海事機関(IMO)は11日、ソマリア沖海賊対策のためのジブチ行動指針に基づいてタンザニア・ケニア、イエメンの3国に設置された情報共有センター(ISC)とアジア海賊対策地域協力協定(ReCAAP)のISCとの間での情報交換を円滑化するため、情報取り扱い方法共通化についての協定に署名を行ったと発表した。これにより、各ISCでの海賊事案の情報共有機能が大幅に拡大されるとしている。

IMOによると、同協定が結ばれたのはソマリア沖の海賊がインド洋まで拡大していることが背景。インドほかインド洋に近いReCAAP締約国にとってはソマリア沖海賊が近海の問題になりつつあるほか、被害船舶の旗国や乗組員出身国にReCAAP関係国に多いことなどから、4つのISC間での情報共有の重要性が高まっていた。

倉庫 9月期 物流堅調で5社増収

科目	
	3.8)
	11.9)
	84.6)
	34.2)
	▲6.2)
	41.8)
	112.9)
	155.6)
	11.5)
	3.0)

科目増減

増の15億円。トランシーは開示なし。

12年3月期は各社、売上高、営業利益の増加を予想する。このうち主友倉庫+副際

日本郵船 アンゴラ向けLNG船 3・4番船を命名

日本郵船は14日、同社子会社のNYKLNG(アトランティック)と三井物産、ティーケイ・コーポレーションの3社がサムスン重工業で建造している新造LNG(液化天然ガス)船2隻の命名式=写真=を1日にサムスン巨済島工場で行ったと発表した。両船はアンゴラ・LNGが生産するLNG輸送に向け長期用船される予定。

今回の2隻は、3社が共有建造した姉妹船4隻のうち3番船、4番船で、それぞれ「Lobito(ロビト)」「Cubal(クバル)」と命名された。「Lobito」は10月31日に竣工しており、「Cubal」は2012年1月12日竣工予定。

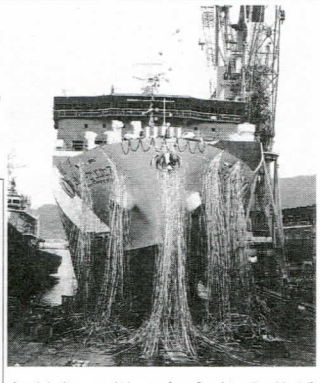
既に竣工済みの「Soyo(ソヨ)」と「Malange(マランジェ)」は、同航路の愛称「シルバーフェリー」と僚船姉妹船にふさわしい名称として付けられた。

11日の式典には、川崎近海の森原明会長、石井繁礼社長、三菱重工の原壽・常務執行役員船舶・海洋事業本部長ら関係者が参加して行われた。

式典であいさつした川崎近海の石井社長は「八戸―苫小牧航路の年間輸送量はトラック14万台、乗用車5万台、乗客32万人に達する。現状では、運賃下げ止まりに向けた具体的な動きはまだ見えてこない」(船社関係者)という。

川崎近海 八戸―苫小牧の新造フェリー 三菱重工下関で進水

川崎近海汽船は14日、三菱重工業下関造船所で建造中の八戸―苫小牧航路(シルバーフェリー)に配船する1万5500総トン級新造フェリー「シルバープリンセス」の命名、進水式を11日に行ったと発表した。同船は、同航路で現在運航している「フェリーはちのへ」(内海造船で建造、1989年就航、5、603総トン)の代替建造船。来年4月5日に竣工後、寄港地の八戸、苫小牧両港での一般公開やトライアル運航を経て、4月9日ごろの就航を予定している。八戸―苫小牧航路への新造船の投入は98年に就航した「シルバークィーン」以来となる。新造船に命名した「シルバープリンセス」は、同航路の愛称「シルバーフェリー」と僚船姉妹船にふさわしい名称として付けられた。



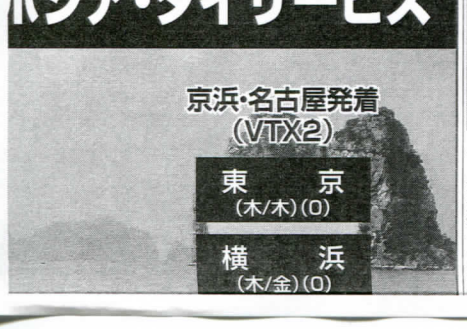
進水する「シルバープリンセス」

ドに中規模以下のターミナル9カ所を擁する。現在の合計保管容量は330万立方㍍超となっている。

新造57型バルカー 2660万ドルで買船 カレッジ・マリーン

香港のドライバルク船社カレッジ・マリーンは14日、中国の浙江海洲造船で2012年1月竣工予定の57型バルカー2隻を2660万ドルで買船すると発表した。

ボジア・タイサービス



京浜・名古屋発着
(VTX2)
東京
(木/木)(0)
横浜
(木/金)(0)